

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月30日更新

事務事業名		高齢者地域支援体制整備・評価事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	米澤伸仁
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進			所属課	高齢者支援課	担当者名	樋口良平
	施策の柱	49	高齢者の介護予防の充実			所属班	包括支援センター班	(内線)	2143
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	介護保険法	
		介護	11	3	5	10449 他		成果優先度評価結果	：
								コスト削減優先度評価結果	：
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	概ね65歳以上の高齢者及びその家族等に対して、日常生活上の様々な悩みについて心配ごと相談、法律相談を行い適切な助言を行う。毎月1日、10日、20日の月3回開催しているため、希望日に自由に相談できる。(広報に掲載)社会福祉協議会が行う「心配事相談諸設置事業」「ふれあいのまちづくり事業」が前身。その後、法令の改正により現在の事業形態となる。法律問題に係る専門的な相談が増えている。法律相談が増えている反動から、簡易な相談まで法律相談に持ち込まれてきた。相談所を設置し、いつでも相談できる環境は市民に安心感を与えている。
【業務の流れ】	事業に関しては、社会福祉協議会に委託。契約書作成、負担行為起票、委託料の支払い。
【主な予算費目】	委託料。
【意見や要望】	直接会場へくることができない方や視覚、聴覚障害者への対応が検討課題。専門相談の種類を増やしてほしい、相談室の環境が悪く、他者から見られているように感じる(声が漏れる、待ち時間に知り合いに会うなど)との意見がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	日常生活上の様々な悩みについて、専門家により心配ごと、法律相談を行い適切な助言を行った。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		日常生活上の様々な悩みについて、専門家により心配ごと、法律相談を行い適切な助言を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア: 心配ごと相談所利用者数		事業統合による減
→ イ: 心配事相談開設日数	日	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
概ね65歳以上の高齢者及びその家族等。		(単位) 人
		→ ア: 65歳以上の高齢者数
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
悩みや心配事を解消できる。		(単位) 人
		→ ア: 相談した高齢者数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
意図が高齢者の悩みや心配事を解消できることから、相談した高齢者数とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 人		388	363	340	344				
	イ 日		35	34	35	35				
② 対象指標	ア 人		12,036	12,988	12,200	13,474				
	イ									
③ 成果指標	ア 人		360	363	340	344				
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円			624	200			
		都道府県支出金	千円			312	100			
		地方債	千円							
		その他	千円			352	400			
		繰入金	千円			312				
	人件費	一般財源	千円				100			
		(A) 事業費計	千円	0	0	1,600	800			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	4	0	3	1			
延べ業務時間	時間	130	0	70	50					
(B) 人件費計	千円	517	0	278	185					
トータルコスト(A)+(B)	千円	517	0	1,878	985					

事務事業名	高齢者地域支援体制整備・評価事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 心配事相談等の人数について、目標を達成した。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ニーズは高いため、現状維持のまま事業を実施していく。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 市民が心配事や悩みを相談できる機会を継続して実施しており、向上の余地は無い。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 総務課と連携済である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業のニーズに応じた最低限の業務を行っている。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委託で行っているため、最小限の事務にかかる経費である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業については広報等で十分周知されている。また必要な人は、誰でも利用できる事業である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 当事業は、民生委員・児童委員等と連携が図れている社会福祉協議会に委託しており、業務がスムーズに運営されている。また専門家確保も含め、現状で委託事業は適切と思われる。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

事業 (法律・心配事) に対するニーズは高いため、これからも総務課との連携を行い継続して事業を実施していきたい。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					